

連 絡 事 項

【 日 程 】

役員集合	8時30分
会場入場・受付	9時00分～
開 会 式	行いません
応 援 席	1階観覧席および2階観覧スペース
試合開始	9時30分
閉 会 式	試合終了後 連絡事項伝達

- 審判協力 各チーム1名以上のご協力をお願いします。（中学生可）
- 入場 ・ 受付 チームごとに受付してください。（棄権の確認をします）
- 監督会議 監督会議は本部席前にて行います。各チーム代表者1名出席して下さい。
各チームで事前に、競技上の注意・一般注意事項を必ず確認してください。
- 審判会議 本部席前にて行います。主審をしていただく方は集合ください。
- 公式練習 公式練習を行います。時間は当日アナウンスします。
- 競技開始・試合コール 9時30分コール開始します。（状況により早めます）
コールがありましたら選手は直接コートに入して下さい。
- 人数制限 ありません
- 熱中症対策 状況により換気の時間を設けます。本部の指示に従って下さい。
試合中、インターバル以外の水分補給と汗拭きについては、選手が主審に申し出れば認めます。選手への周知をお願いします。

- その他 各種目とも上位5位までの選手は、関東小学生オープンバドミントン大会及び、全国小学生バドミントン大会山梨県選抜チームの代表とします。
ただし、今年度は、関東オープンの日程と運動会が重なっている学校があるため補欠1名を決めます。補欠選手は、上位5位までの選手が出られない場合に遠征メンバーに入ります。そうでない場合は、遠征はありません。

代表となった際には、選手選考基準に明記されている通り、
「団体戦のオーダーは、選考会の順位が必ずしも反映されるものではなく、選考会後の練習会や遠征での様子を踏まえ、引率の監督・コーチの判断により決定する」ということを、選手と保護者に周知してください。

また、今後の練習日程や、本大会遠征に関することは、選抜チームの監督・コーチが決めます。その連絡は、必ず各チーム代表者を通して保護者に連絡することを徹底してください。

競技・審判上の注意

1. 本選考会は、令和8年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、および同大会運営規程、ならびに同公認審判員規程により行います。
2. スコアリングシステムについて、得点方式は、1ゲーム15点で2ゲーム先取の3ゲームマッチとします。
スコアが14点オールになった場合には、その後最初に2点リードしたサイドがそのゲームでの勝者となります。
20点オールになった場合には、21点目を得点したサイドがそのゲームでの勝者となります。
各ゲームにおいて、どちらかが8点に達した場合、60秒を超えないインターバルを認めます。
ゲームの間に、120秒を超えないインターバルを認めます。
ファイナルゲームで、どちらかが最初に8点に達したとき、チェンジエンズを行ないます。
各インターバルともコーチは2人まで競技区域に入れますが、主審が「20秒」とコールしたら速やかにコーチ席に戻り、選手はコートに入ってください。
3. 競技方法は、予選はリーグ戦、決勝トーナメントで行います。
リーグ戦合の順位の決め方は、①勝ち数の多い者、②総得失ゲーム率の高い者、③総得失点率の高い者、④直接対決で勝った者の順番で決めることとします。
4. 主審は、各チーム1名以上のご協力をお願いします。割振りは当日本部が行います。
線審はそのコートで試合が終わった人が、勝敗に関係なく行ってください。タイムテーブルの1巡目の試合については、選手と同チームから線審を1名ずつ出してください。参加人数が少ないチームで、線審が出せない場合は本部に申し出てください。
5. 試合の進行は、基本的に「流し込み方式」で行いますが、変更する場合があります。
アナウンスがありましたら選手・コーチは直接コートに入ってください。
6. 試合が連続する場合は、原則として前の試合が終了してから10分後に次のコールをします。
7. 応援は観客席から行ってください。コートサイドでの応援はできません。また、応援席からのアドバイスはできません。
8. コートエンドにコーチ席を2席設置します。ベンチ入りできるコーチは、山梨県小学生連盟にベンチ入り登録したコーチのみとし、着席時は必ず指導者登録証を身につけてください。
※ベンチ入りコーチの登録ができるのは、(公財)日本バドミントン協会および山梨県小学生バドミントン連盟の両方に登録済みで、(公財)日本バドミントン協会公認審判員資格登録者もしくは(公財)日本スポーツ協会公認バドミントンコーチ資格取得者となります。
9. コーチの服装は、上はゲームシャツもしくはポロシャツ、下は長ズボンのみとします。
10. コーチは許可されたインターバルの間を除き、指定された椅子に着席し、試合中は立ち上がりたりコートのそばに立ったりしないで下さい。また、コーチが他のコートへ移動する際はインプレーでない時に行ってください。
11. 試合中に汗拭きや給水等でコートを離れる場合は、必ず主審の許可を得て下さい。
12. 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
また、主審に質問できるのは選手のみです。
13. 各試合のインターバルは、次の通りです。

各ゲームにおいて、どちらかが11点に達した場合、60秒を超えないインターバル、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に、120秒を超えないインターバルを認めます。

各インターバルともコーチは2人まで競技区域に入れますが、主審が「20秒」とコールしたら速やかにコーチ席に戻り、選手はコートに入ってください。

1. 選手の服装は、(公財)日本バドミントン協会検定合格品とし、背面にゼッケン(チーム名・名前)を付けてください。
2. 選手は、試合開始時に主審と握手し、続いて選手同士で握手し挨拶をします。試合終了時も同様に主審と握手し、続いて選手同士で握手し挨拶をします。
挨拶時は、ウェアをパンツに入れなければならないが、試合中は入れなくてもよいこととします。
3. ラケット、タオル、ドリンク等、試合に必要なものは各自のバッグ等(カゴは不可)に入れてコートサイドに持ち込んでください。荷物は直接フロアに置かないようにして、コートに入ってください。
氷のうを大きいクーラーボックスに入れて持ち込む場合はコーチ席に置いてください。
小さい保冷バッグなどでバック等の中に入れて持ち込む場合は、OKです)
4. 試合中のシャトル交換は、主審の許可を得てから交換してください。
また、試合中に汗拭きや給水等でコートを離れる場合は、必ず主審の許可を得てください。
5. 勝者サインは、選手本人が記入してください。
6. 選手が試合中に怪我等をした場合、主審は手を挙げてレフェリーを呼んでください。レフェリーと看護師がコートに行きます。
出血がある場合は、止血をします。主審はプレー再開までの時間を測り審判用紙に記入します。
怪我の場合は、プレー続行できるかできないかの判断のみで、治療はできません。ただし、血が出ている場合は治療を認めます。主審はプレー再開までの時間を測り審判用紙に記入します。
続行した時、インターバル中に治療が終わるならそれは認めます。

一般注意事項

1. 場内でのフラッシュ撮影は競技の妨げになりますので禁止します。
2. 会場内の電源を使用しての充電等は行わないようにお願いします。
3. 熱中症予防のため水分補給をこまめに行ってください。
4. 昼食は可能な限り屋外でお願いします。公民館のロビーが利用できます。
5. 忘れ物が多くなっています。各自の持ち物は、各自で責任をもって管理をして、紛失盗難等がないように気をつけてください。
6. 競技中の負傷については応急処置のみで、その後の責任は主催者側で負いません。
7. ゴミは各自で持ち帰ってください。帰る際には、各チームで周辺にゴミ等がないか確認をお願いします。